

No.	要求分類		No.	要求項目	移行要求案
1	前提条件	移行作業を計画するうえで前提とすべき条件	1-1	業務システムの移行支援	新規構築または再構築される業務システムが仮想化基盤を利用するための各種支援（仮想化基盤の利用手引書・ルールブックの提供、テスト環境やデータ移行環境の提供等）を行うこと。
			1-2	既存システムのサービス停止期間の調整	既存業務システムからのデータ移行に際しては、平日深夜や土日祝日を前提とした作業計画を策定し、サービス停止による業務影響を最小限に抑えること。
			1-3	移行作業の役割分担	移行作業については、本市職員や関係する各システムの担当との責任分界点を明確にすること。移行作業の過程で発生する職員や他事業者への作業調整については、仮想化基盤の構築事業者が主導すること。
			1-4	職員の負荷軽減	移行作業については、可能な限り職員や他事業者への負担を抑えた移行計画を策定すること。
			1-5	業務システム担当事業者との役割分担	業務システムが、仮想化基盤を利用する際の作業範囲を明確にすること。
			1-6	業務継続性の担保	本番移行で不測の事態が発生した際にも、本市の行政サービスへの影響は最小限に留めなければならない。万が一の事態を想定し、発生しうるリスクを適切に評価しコンテンジェンシープラン（リカバリ手順）の策定を行うこと。
			1-7	本番データの取り扱い	仮想化基盤は、個人情報が含まれるデータを取り扱うシステムであることを考慮し、本市のセキュリティポリシーを踏まえた本番データの取り扱いを本市と協議のうえ、移行作業に関するルールとして定義すること。
2	移行計画	新システムへの移行に係る作業とその役割分担に関する要求	2-1	システム移行要求	移行リハーサル、本番環境への移行など、仮想化基盤へのデータ移行を確実に完結させるために必要な作業と、各作業で満たすべき要求仕様を定義すること。
			2-2	ICTライフサイクル	移行計画やデータ整備、移行リハーサルなどを含む本番移行に至るまでの移行作業のスケジュールを整理し本市の合意を得ること。
			2-3	主な関係者	業務所管所属や情報システム課など、仮想化基盤の移行に関わる主要な関係者と、それぞれが果たす主な役割を整理すること。
3	移行方式	新システムへの切替やデータ移行の方式に関する要求	3-1	移行方式	現仮想化基盤の仮想環境から次期共通基盤システムへ仮想マシンを移行する際に使用する仕組み（移行ツール）を提供すること。 移行方式は原則V2Vとする。